



# のびのび若っ子

「強いチームの条件」＝「良いクラスの条件」

チーム学年経営推進マネージャー 萩原 里史

今年のカレンダーも、いよいよ最後の一枚となりました。校庭のイチョウの葉っぱも黄色く鮮やかに色づき、日ごとに寒さが本格的になり、健康管理にもより一層気を付けていきたい季節を迎えています。

私がまだ初任だった頃、先輩教諭から「強いチームの条件とは何か。」を教わりました。私は「やはり、チームワークではないでしょうか。」と答えると、先輩教諭はこのように答えました。

○一人一人が自分の役割をきっちりとやる。 ○お互いに声をかけ合う。 ○お互いにカバーし合う。

続けて先輩教諭は、「これをクラスに当てはめると、良いクラスの条件になるんだよ。」と教えてもらいました。私も「なるほど!」と思ったことを覚えています。

11月に、全校たてわり活動が行われました。天候にも恵まれ、暖かい一日となりました。子ども達は若葉台のまちをたてわりグループで歩き、各ポイントで協力してゲームを楽しみました。事前学習では、6年生が公園を巡り、巡る順番や滞在時間を計画したり、レクリエーションを企画し実際にシミュレーションを行ったりしました。5年生は、さらに楽しみを増やすために9つのミッションを作り、そのミッションを伝える練習をしました。当日は、その準備の成果が十分に発揮されていたようです。どのグループもそれぞれの公園や地域を歩く中で楽しく活動することができました。公園では、上級生の盛り上げる声に1, 2年生が飛び跳ねながら楽しそうに応えている姿も見られました。地域を歩く中でも、「大丈夫?」や「もう少しゆっくり歩こう。」など相手を気遣う声も聞こえてきました。一日の活動を通して、子ども達が主体的に「良いグループ」を作っていたといえるのではないのでしょうか。それぞれの学年がそれぞれの役割を果たし、みんなで声をかけ合ってみんなで楽しむ。そうやって「良いグループ」の広がり「良いクラス」、「良い学校」へと繋がっていくのではと思います。子どもたちが、安全に活動できるように支援をいただいた皆様、当日見守り、温かい言葉をかけてくださった皆様、若葉台のまちの皆様に職員一同感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。

さて、今年度は11月27日から12月9日までの2週間を「人権週間」として、改めて、人権感覚や人権意識を見つめてふりかえり、気づき、行動する機会としていきます。今月も、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』